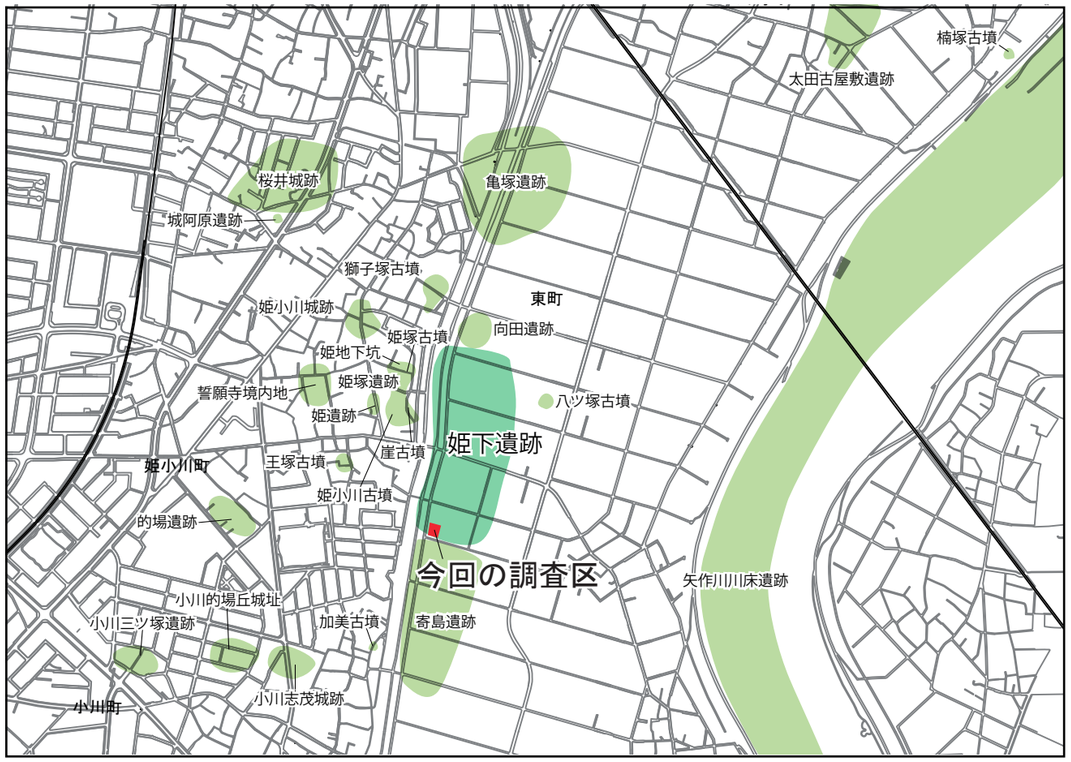


姫下遺跡周辺の遺跡分布図

パレススタイル土器・壺

台付甕（脚部）

甕（口縁部付近）

今回の調査で出土した遺物（一部）

0	100	200	300	400	500	600	700	800
弥生時代			古墳時代					奈良時代

姫下遺跡
周辺の古墳

- 姫小川古墳
- 獅子塚古墳
- ● 八ッ塚古墳

今回の調査による遺跡の時期

姫下遺跡

発掘調査 地元説明会資料

令和３年９月４日（土） 午前 10 時～ 12 時　現地自由見学

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017　愛知県弥富市前ヶ須町野方 802 の 24
TEL（0567）67 - 4163【調査課】
HP http://www.maibun.com/
Twitter　https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook　https://www.facebook.com/maibunaichi

【調査支援】 株式会社アコード 名古屋営業所
HP https://www.a-accord.co.jp
〒 498-0031　愛知県弥富市平島町大脇１２－３－202

姫下（ひめした）遺跡の概要

姫下遺跡は、碧海台地に沿って流れる鹿乗川東岸の標高７ｍの沖積地上に立地します。西岸の台地上には桜井古墳群の中でも最大規模の前方後円墳、姫小川古墳をはじめ、（崖古墳）・姫塚古墳・獅子塚古墳が並びます（周辺の遺跡分布図）。

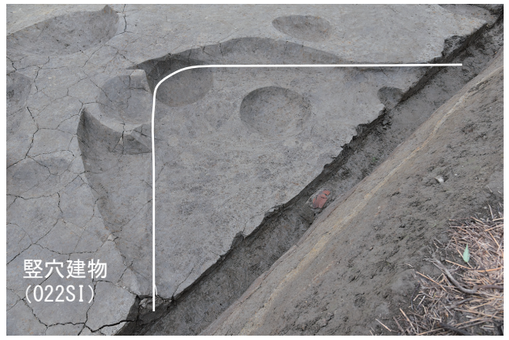
姫下遺跡の調査は、昭和 48 年の安城市教育委員会の発掘に始まります。これまでの調査成果は、弥生時代・古墳時代初期～前期・古墳時代後期・平安時代～室町時代・江戸時代後期～明治の５期の変遷として整理されています。

なかでも、多数の竪穴建物などが確認された古墳時代前期の出土遺物には、人面文土器を含む線刻土器や布留系土器群のほか、農具や工具、祭祀具、大型建築材を含む大量の木製遺物などがあり、集落の活発な営みがうかがわれます。

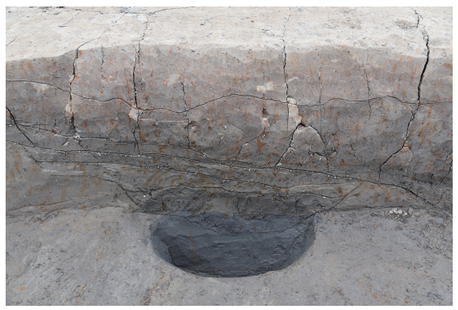
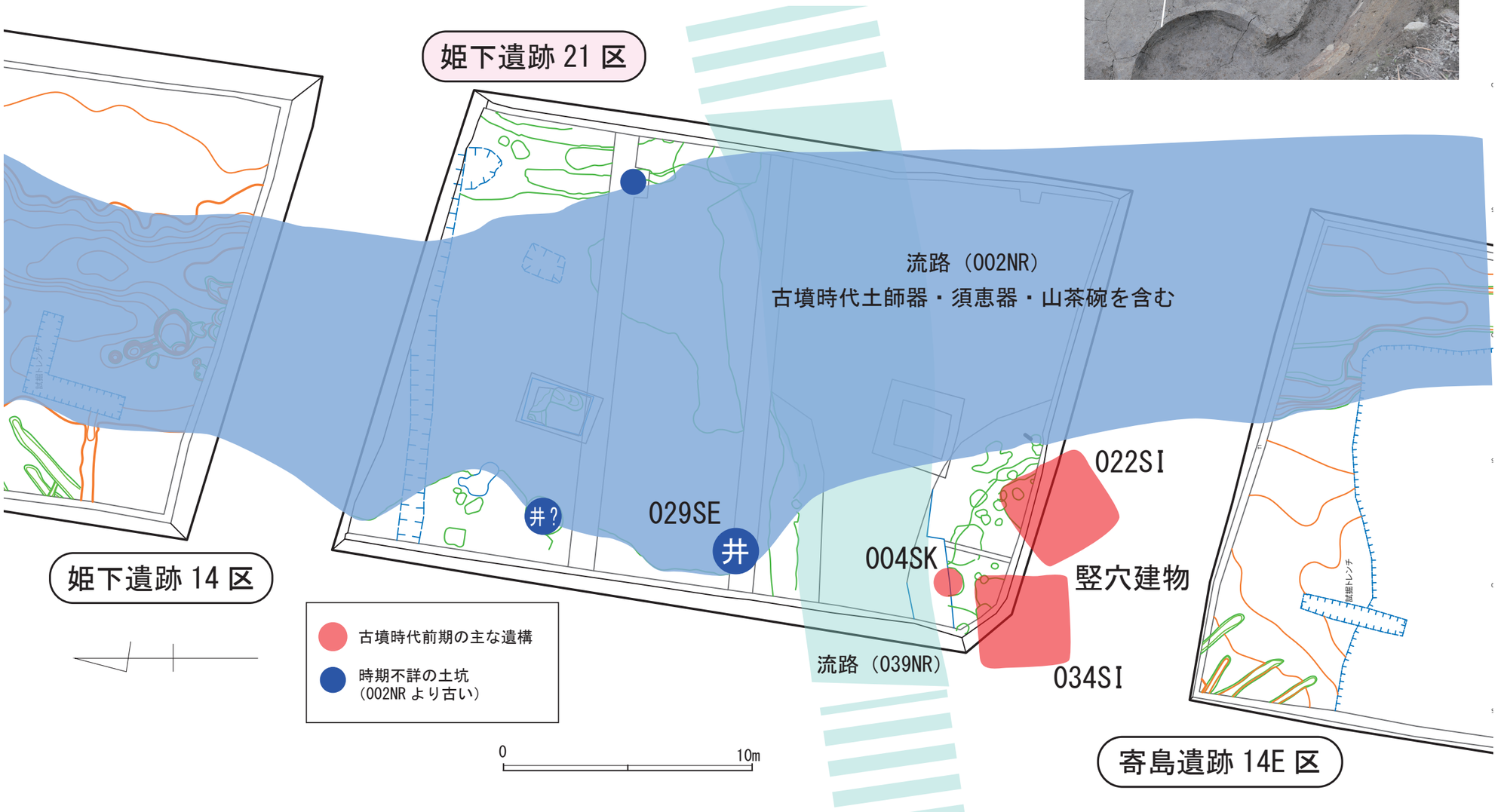
今回の調査成果

令和３年度の今回の調査では、碧海台地のある西側寄りの範囲に古墳時代前期の土器を含む包含層（001SX）が確認できました。南北約 5m 、東西約 10m という狭い範囲でしたが、調査区壁断面の情報などをから竪穴建物２棟、土坑・ピット数基を検出しています。姫下遺跡の古墳時代集落の範囲や地形について、新たな情報を追加する資料が得られました。

調査地点では広範囲に河川流路（002NR）の影響がみられ、流路の上層はブロック状となったシルトや粘土質土に覆われています。これには古墳時代の土師器をはじめ、灰釉陶器・山茶碗などが含まれており、ごく近辺の包含層が壊されて混入したと考えられます。また、この流路（上層）より古い時期の井戸（029SE）の最下層の痕跡も見つかっています。



土坑（004SK）
古墳時代土師器出土状況



井戸（029SE）断面